

議案第1号（審議事項）令和8年度ランランバスフィーダー計画の変更について

結果・意見	対応
<p>(結果)</p> <p>賛成18名、会長一任3名、反対0名 本議案について原案のとおり承認する</p> <p>(意見)</p> <p>① ランランバスは22人乗りのバス導入後、前年比全ての月で利用者増となっている。2025年度の例で言えば、8月は日曜、祝祭日運行が10日あったが平日と変わらない利用があった。2026年度も真夏日・猛暑日が予想される。収支率が主な判断材料とされる場合、燃料高騰、物価高が続くと思われる中、地域は一人でも多くの利用者を増やす活動をして追いつかない。地域の利便性は失われる。運行を継続しつつ赤字を解消する方が求められる。</p> <p>(修正案)</p> <p>① また、地域では利用者数を増やす様々な取り組みを自治会を中心に行っている。 広報誌を定期的に発行し、地域全世帯や、協力団体に配布した。 令和2年度～7年度はまだ利用していない人にも利用してもらおう試みとして自治会予算で回数券を購入し、会員に配布した。 子どもたちにバスに親しんでもらうきっかけづくりとして、令和4年度は校区PTAと協力し、地域の小学1年生から5年生の児童にアンケートと共にランランバス小人回数券を配布した。又、令和4年度～6年度は夏休みラジオ体操参加者に、子供会や自治会が中心となり小人回数券を配布した。 令和4年度～7年度は自治会予算で差額を負担し、回数券の割引販売を行った。 株式会社フクユによる本格運行1周年～5周年まで(令和3年度～7年度)毎年、周年記念式を行い、市・株式会社フクユ・地域、協力団体と共にバス運行継続を確認する機会とした。 令和6年～7年度は、宝塚温泉まつりや校区の</p>	<p>① 燃料高騰や物価高など昨今の社会情勢の影響がある中で、路線を維持していくために事業者はやむを得ず日曜、祝日運行を休止する決定に至りました。 今後は地域の生活交通を守るために赤字縮減の方策を地域・事業者とともに探し、運行の継続及び発展を目指します。</p> <p>→ご意見を基に内容を修正します。修正箇所については修正資料別紙2をご確認ください。</p>

<p>Ugan まつりなどに出展し、ワークショップを通して交流し、公共交通への理解を深める活動をした。</p>	
<p>議案第2号（報告事項）宝塚市北部地域(西谷地域)における移動手段導入のための試験運行の実施について</p>	
意見	対応
<p>① ここまでのご調整・ご準備、誠に疲れさまです。今回の受託候補者の選定結果の資料に、評価基準や選定理由の概要について、もう少し具体的なご説明があればいいと思います。</p> <p>特に、評価項目や提案内容の特徴、他の応募者との比較における差別化のポイントなどをご共有いただければ、協議会としての方向性や判断の軸が明確になりますし、今後の合意形成や地域との対話も、より解像度の高いものになると思います。</p> <p>② 地域住民の意見を広く募り、進捗等あれば早期の連絡をお願いします。</p> <p>③ 西谷地域の移動手段は必要です。</p> <p>④ 試験運行に際してはバリアフリーに配慮し、車いすの乗り降りのできる車両を使用すること</p> <p>⑤ 誰も取り残さない社会を目指す宝塚市において、西谷地域の皆様に寄り添った移動手段が試験運行の後本格的に導入されることを願っています。</p> <p>⑥ 試験運行の受託事業者が選定され、いよいよ運行に向けて協議が進められていきます。地域の不安と期待に対応いただき、事業者と地域を含めた協議の場を早く設定していただきたい。</p>	<p>① 本業務は、市発注業務であり、受託候補者の提案内容の特徴については実施要領「12その他留意事項（7）」において宝塚市情報公開条例第5条に基づく公開請求等を受けて公開としています。つきましては、協議会では結果の報告とさせていただいており、今後、受託候補者や地域との協議を重ねて試験運行の詳細が決まり次第、協議会委員の皆さまにご報告させていただきます。</p> <p>② 地域住民の皆様から広くご意見をいただけるように努め、進捗等ありましたら、速やかにご報告します。</p> <p>③ 西谷地域が交通空白地域とならないよう、令和9年4月からの本格運行への移行を見据え、地域住民の通勤・通学、買い物などの日常生活に不可欠な移動手段を確保します。</p> <p>④ 本事業では、西谷地域の実情に即した移動手段を導入することを目的としています。試験運行で使用する車両は、定員14人乗りの車両です。定員14人乗りの車両には、車いす対応ができる車両がありません。今後、試験運行の利用状況をみながら事業者・地域との協議を踏まえて本格運行のあり方を検討します。</p> <p>⑤ 地域、事業者と連携を図りながら、本格運行に向け、地域の実情に即した新たな移動手段を検討します。</p> <p>⑥ 西谷地域の移動手段の確保に向け、事業者と地域を含めた協議の場を早期に設定したいと思います。</p>